

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. D-33

部門名：校内研修

エントリー名：神奈川県南足柄市立岡本小学校 津田 千由美

活動名：「チーム学習」でチーム力 ～FF 研修による人材育成～

解決すべき課題：チーム岡小で学級経営力をつける

「授業づくりの基礎は学級経営だ」とは、よく聞かれる言葉である。本校のグランドデザインもその通りである。裏を返せば、学級経営上の問題が改善されなければ、どんなに授業研究を重ねても良い授業づくりは望めないということだ。しかし、学級経営のノウハウは、いつ誰が教えてくれるのだろうか？

本校は昨年度、平均年齢 38 歳、1/3 が 20 代、中堅層（40 代）が極端に少ない教職員集団となった。大量退職時代を迎え、どのように人材育成を図っていくかは、どの学校でも起こっている喫緊の課題であろう。人材育成が必要なのは、何も若手教員に限ったことではない。どの年齢層にあっても、個々の自己実現を図りながら自身の力量を高めていくことが、学校全体の力を高め、ひいては子どもたちの力をつけることにつながると思う。

目標・方針：F（ree）F(ifeen)研修＝互いに切磋琢磨し、個々の RPDCA サイクルを円滑にまわす

【第Ⅰ期】『基礎基本期』⇒若手層の育成

【第Ⅱ期】『充実期』⇒ヤングミドルリーダーの育成

【第Ⅲ期】『発展期』⇒中堅・ベテラン層のモチベーション強化

＜考え方＞

学級経営の成長段階をⅢ期にわけ、それぞれの段階での困り感をもとに、15 分間ミニ研修会を計画する。ファシリテーター役は、Ⅰ期：教頭 Ⅱ期：ヤングミドルリーダー Ⅲ期：中堅・ベテラン層とすることで、人材育成を兼ねる。参加は自由、事前にテーマの周知。但し、「拡大 FF 研修会」は全員参加。

活動内容：自身の強みを生かしたファシリテーター

＜テーマ例＞

- 「いじめ」って何？⇒【資料①】 ○学級開きミニゲーム ○プログラミング研修（拡大 FF 研修）
- 「特別な教科 道徳」カリキュラムをどうする？ ○「国語の授業」で大切にしたいこと（模範授業公開）
- 新学習指導要領「カリキュラム・マネジメント」ってどういうこと？（拡大 FF 研修）

活動の成果：教職員のチーム力は子どもの力を向上させる

- ①成果物！みんなで創った「岡小スタンダード」⇒【資料②】
 - ・「特に基礎基本期は、どの学級、どの先生も、共通の指導をしていこう」という声が年度末にあがった。そこで、若手層が中心となり FF 研修を重ねた結果、「岡小スタンダード」が完成した。
- ②チーム力の向上⇒【資料③】
 - ・早稲田大学教授 河村茂雄氏による「教員組織所属意識尺度」の「同僚・協働性尺度」の上昇が見られた。
- ③学級の安定
 - ・学年学級の枠を超えた校内の協力体制が確立し、互いに切磋琢磨しながら学級づくりを進めている。
- ④自主研修の波及
 - ・校外の研修に自主的に参加する若手層が増えている。

アピールポイント（アイデアや工夫）：学び続ける教師

- ①ヤングミドルリーダーが育つ!! ☞自分の得意分野、校外研修等で得た知識の活用
- ②旬なテーマなのですぐ役立つ!! ☞困っていること、今更聴けないこと?! やらねばならぬことなどがテーマ
- ③勤務時間内しかも短時間なので参加しやすい!! ☞忙しい時は「ごめんさい」

